



日刊 動力労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.5.17 No. 3793

津田沼支部 が17回臨時 大会を開催

不当配転と断固闘う 執行部を選出!!



津田沼支部は、五月十三日、十八時から、船橋市・東部公民館において、第十七回臨時大会を開催し、四月二十七日に発令された五名に対する不当な強制配転攻撃に対して、津田沼支部の闘う伝統を守りぬぎ、全ての強制配転者を取り戻すまで全力で闘う方針と新執行体制を確立した。

臨時大会は、配転された仲間も全員かけつける中、福島君の開会あいさつで始まり、議長には内山君が選出され、大会スロークアンが提起された。

山田支部長はあいさつで「津田沼支部を破壊するための不当な強制配転だ。新しい体制の下で配転攻撃を打ち砕くために闘いぬいてもらいたい。共に闘おう」と闘う決意を参加した支部組合員に訴えた。

新執行体制			
支部長	荘司 仁	三三	運転士
副支部長	石渡英夫	四四	車・技係
書記長	高瀬成夫	三三	運転士
執行委員	高梨広之	三五	同
同	相馬正利	三三	同
同	結城敏之	三二	同
特別執行委員	浜野善弘	三三	営業指導
同・青年部長	福島勝之	三四	運転士
会計監査	斉藤守秀	三一	車両係
同	久古新太郎	三一	同

つぎに、本部を代表して田中書記長より、この間の配転をめぐる状況と経過、JR体制がさらに危機的状況に向かつて進んでいることなどが詳しく説明され、動力千葉の闘う方向性が明らかになった。

議事に移り、方針(案)が執行部から提起され、質疑では、配転に対する怒りが参加者から噴き出し、さらに、津田沼支部出身の京葉支部と総武支部の仲間からも配転を粉碎し元の職場に復帰するまで共に闘う決意が語られた。

新役員の選出では、新たに荘司仁君が支部長に選出され、闘いの原点の支部として断固として津田沼支部を守りぬぎ、闘いを展開したい」と就任のあいさつを行い、全参加者も拍手で承認して新執行体制が発足した。(表を参照のこと)

大会宣言の発表・採択の後、議長解任あいさつを受け、荘司新支部長の団結ガンパロー三唱で臨時大会を終了した。

津田沼支部は、三度にわたって二八名の強制配転が行なわれ

- 団体戦 ●
- ① 幕張支部 一〇一八
- ② いすみ支部 一〇〇〇
- ③ 津田沼支部 九九六

- 個人戦 ●
- 一チーム三人・二ゲームトータル
- 四〇才以上の部
- 三ゲームトータル

ボウリング大会開催-5月8日-



家族会の部 (二ゲームトータル)			
①	市原弘司	勝浦	二九四
②	小芝秀子	木更津	二四六
③	市原さよ子	勝浦	二四六

三九才以下の部			
①	高沢成夫	津田沼	五〇〇
②	加瀬正広	館山	五〇〇
③	関根一美	銚子	四九六
HG	関根一美	銚子	二〇七
BB	内山敏光	津田沼	

四〇才以上の部			
①	田中広勝	いすみ	五七五
②	柴崎良夫	新小岩	五三五
③	今田 忍	総武	五二九
HG	田中広勝	いすみ	二三五
BB	笠井哲二	銚子	

粉砕し、配転されている仲間たちを取り戻すまで全力で闘いぬこう。

お知らせ

宮嶋義勇監督のドキュメント映画「怒りをうたえ」(七〇年安保闘争の記録)がテレビで紹介されます!

五月二一日(金) 21時放映

番組名「驚きものの木一世紀」